

## 現代生活学科の授業紹介！（その8）～「環境科学概論」（その2）～

実践女子大学現代生活学科では、今後の社会の重要テーマである「環境」、「メディア」、「自立社会」について学びます。その中でも「環境科学概論」は環境・エネルギー領域の入門科目として1年生の前学期に履修します。高校や受験時に理科科目を十分に学習していない学生にも理解しやすく、一方、理科科目が得意な学生はその特質を高めることができる内容で授業を実施しています。また、環境学に関する新聞記事をまとめる課題を通して、現代社会における環境問題の自己学習を促進しています。

この科目では、現在の地球環境問題の主題である「地球温暖化」について、エネルギー利用の面から原因を解説し、紫外線による影響や光化学スモッグの発生機構をオゾン、フロンという物質の関係から説明します。さらに、私たちが住んでいる地球の科学をその生い立ち、大気循環、海流、土壌生物の役割から考えます。また、大気汚染、水質汚濁などの公害問題も取り上げ、地球の肺、マングローブ林、食物連鎖、里地里山、エコロジカル・フットプリント、都市生活型公害、都市型洪水、ヒートアイランド現象といった近年の環境のキーワードの内容についても理解を深めます。

現状の環境問題を整理しつつ、若い女性の視点による今後の持続可能・循環型環境社会の構築に向けた教育・研究を展開します。

そのほかに環境・エネルギー領域を取り扱う講義科目として、1年生後学期の「現代社会を読み解くd（科学技術と社会）」では既存のエネルギー利用、2・3年生の「環境工学及び調査」では再生可能エネルギーや環境問題、「生活ビジネスa（グリーンビジネス）」では環境社会の機構、「地域エネルギー論」ではバイオマス等地域自立型エネルギー、について主に学習します。

## 環境科学概論の履修を終えて ～現代生活学科1年生の感想～



実践女子大学  
日野校地正門横の  
ソーラーパネルと風車

環境科学概論の授業は板書で分かりやすく、環境についても知れたので良かったとしても楽しかったです。課題も最初に言われて、好きな時に出して、という感じが良かったので、空いている時にできて良かったし、量もちょうど良かったです。私は、環境のことに関して全く知りませんでしたが、先生の授業の中で、環境に関する知識を増やしたいと思いはいた。ありがとうございます。

【担当教員紹介】 菅野 元行（すがの もとゆき）

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 准教授 博士（工学）

石炭や石油の化学反応による燃料製造の化学にて研究活動をスタートし、近年ではバイオマスや廃炭素資源のリサイクル化学、さらに東日本大震災を契機として再生可能エネルギーや環境科学までフィールドを広げている。その他は、裏面に記載のホームページをご覧ください。

現代生活学科1年生  
YMさん作画



黒板に板書をしてくれたのがよかった  
教科書がわかりやすかった。  
企業の方の話を聞けてよかった。



高校時代、文系であった私に環境「科学」がきちんと学べるか不安でしたが、原号記号も一から説明してくださったり、沢山の資料を配覧してくださったりと丁寧な授業で、いつしか当初の不安もなくなっていました。

いつになるかわからないけど、この4年間のうちにEco検定をとるのが目標です。頑張ります。

前期の間、ありがとうございました。後期もどうぞよろしくお願ひします。

環境に関する基本的な知識も学べるようになった。  
授業中に回っている資料は結構難易度の高いことが書いてある本だったが、頑張らなくて読んでもみようという気持ちが大きくなった。私は中学生の頃から理科系は苦手だったのですが、先生がしっかりと詳しく教えてくれたので理解することができました。

J W U



メディア関連の授業(河井先生担当)にて、現代生活学科のマークを学生諸君が試作しました。その一部を数号にわたって紹介します。

環境系の話は私自身、とても興味を持てる内容だったので、毎授業、とても楽しく受けることができました。ありがとうございました。

理系科目は高い以来だったのでわからない点も多く、元々あまり得意ではなかったため興味は薄かった。その分先生は1から教えてくださったので良かったです。授業だけでなく生活していく上で知っておくとも良いことも知りました。



環境に関して興味があったので、今まで知らなかったことなど学べてすごく良かったです。環境についてより興味をもったし、もっといろいろな事を学びたいと思いました。

わかりやすく説明して下さったので理系が苦手な私にも楽しかった。

環境についての理解が広まってとても良かったので、環境科学だけでなく企業の方の話が聞けたためになった。

化学式をいれらる場面でもできる時使わないようにしてくれたので、理解しやすかった。それにプリントをもし配られていたら、自分で理解とかできないうちにしまってしまうので、板書あるという点もよかったです。



課題の新聞記事に触れることで、授業の内容がより深く理解できたと思います。

試験終了直後の実力を出し切った時に、意見を書いていただいた現代生活学科1年生の皆さんに感謝します!!!

現代生活学科は、「環境」を理解し、「メディア」の技術と考え方を身につけ、「自立」した社会と暮らしづくりを構想し、実践するための教育を展開します。私たちとともに、女性ならではの視点で、新たな社会づくりを考えていきませんか？

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 News! 2014年第17号  
編集・発行 実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 2014年8月8日発行  
〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1 Tel. 042-585-8918 Fax. 042-585-8919  
実践女子大学 <http://www.jissen.ac.jp/> 現代生活学科 <http://www.greenphronesis.org/>